

第50回：与太郎の酒鬼戦記

最近の中国人は大酒を呑まなくなったものだとつくづく思う。むかし商談に伴う宴会の主演といえばアルコール度数が50度を超える白酒（パイチュウ）、日本ではブランド名として「茅台酒」や「五糧液」などが有名だが、これを小さな杯で何倍も飲み干さないことには商談が進まなかったのである。このように野蛮な宴会が都市部では最近影を潜めている。中国では、いまでも茅台酒や五糧液の人気の高いようだが、大半が贈答用であり、最近北京や上海の実業家たちはビールやワインを好むという。宴会で乾杯を無理強いするような蛮習も影を潜めつつある。日中友好の名のもとに連日繰り上げられる宴会戦、飛び交う酒杯の下をかい潜ってきた企業戦士から見ると、いまの駐在員たちは幸せだと思う。

20年近く前のことだが、訪中団の随員として北京市と湖南省を訪問したことがある。当時緊密な関係にあった中国最大の商業銀行が、経営の一線を退き相談役に就任することになった筆者の上司を慰労すべく中国に招聘してくれたのである。先方にあまり迷惑をかけてはいけないので、日程は東道主一任としたが、有難いことにゆったりとしたスケジュールを組んでもらえた。北京では行員40万人の頂点に立つ商業銀行の総裁自らが北京飯店で盛大な慰労の宴を催してくれ、懐かしい同行のOB連中も顔を揃え、飲み、語り、歌い、と興味尽きせずの楽しい一夜を過ごすことができた。

翌日から駆け足で関係先への挨拶廻りを行い、北京における最終行事は人民大会堂での昼食会を残すだけとなった。ホストは全国人民代表大会の副委員長。高名な国家指導者の一人だが、相談役の親友として送別の慰労会をオファーしてくれたのである。合計10名程度の昼食会だから人民大会堂では小さな部屋を用意したはずだが、それでも天井の高い広大な部屋であったと記憶している。国家主席を義弟に持ったが故に（即ちファーストレディを妹に待たされたが故に）、文化大革命中に8年間も投獄された人物だが、そのような陰影は微塵も感じさせず、悠揚迫らぬ大人の風格でわれわれに接し、別れに臨んでは友誼に溢れ且つ心温まる送別の辞を頂いた。翌日からわれわれ一行は湖南省を訪問することになっており、副委員長より併せて同地の歴史、文化、風物等につき説明があった。曰く、湖南省は昔より「魚米之郷」と呼ばれる豊饒の地であり、酒よし、米よし、料理よし、おまけに美人の輩出地でもあると。また辛亥革命や共産主義革命の発祥の地であり毛沢東（党主席）、劉少奇（国家主席）、彭德懷（元帥国防相）など偉大な革命家も多い。傾城佳人はともかくとして、英雄豪傑の産地であるせいか、料理は美味いが死ぬほど辛く、その辛さたるや四川料理を凌ぐという。また湖南省には天下の銘酒が数々あるが、アルコール度数が50度を軽く超えているので飲み過ぎには注意が必要だと、副委員長閣下は（相談役ではなく）楽しそうに盃を重ねている筆者を軽く戒めた。

翌日、予定通り空路長沙に到着した。北京での慌ただしい公式行事が成功裏に終了し、長沙からは上海事務所の駐在員も合流したので、通訳も彼に任せ少しは羽を伸ばしても罰は当たらないだろうと横着を決め込んだ。当日は湖南省支店の案内で歴史博物館と革命博物館を見物した。悠久の歴史と苦難の革命史を

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

学び、百聞は一見に如かずだと一同感激しながら、夜は銀行主催の歓迎宴に出席した。嬉しいことに、かつて日本に招待したことがある同行の幹部2名がその後出世して、湖南省分行の支店長と副支店長に昇進していた。支店長といっても、部下が1万人を超えるというから落ち目の邦銀支店長とはちょっと違う。彼らとの思いがけぬ再会に一同大いに喜び、当地の銘酒「酒鬼（53度）」で乾杯の応酬が始まった。実は北京の宴会でも白酒は登場し、飲める人は乾杯に2-3回は付き合ったのだが、長沙ではいつまで経っても乾杯が止む気配がない。「これはまずいぞ、そろそろ酔いも回ってきた！」と体は警報信号を鳴らしているのだが、乾杯を遠慮しても先方が許してくれない。敵も巧妙で相談役には決して無理強いせず、随員に目標を絞っている。そのうち旧知の副行長が筆者に向かって「われわれ二人は大きな杯に替え、相談役の万歳を祝そうではないか」と提案してきた。満座は大喝采である。腹の立つことに日本側の随員まで素知らぬ顔で熱烈に拍手している。攻撃が筆者に向かったのでホツとしているのである。そのうち部下の通訳がペロペロ状態になったので、そいつの乾杯まで筆者が受ける羽目になり、もう少しで揚子江に撃沈させられるところであった。翌日の昼食会でも支店長、副支店長が「酒鬼」を持って登場し、乾杯は飛行場への出発時間ぎりぎりまで続いた。おかげで酔歩蹒跚として飛行機に搭乗した途端眠り込んでしまい、相談役に起こされるまで張家界に着陸したのに気付かなかった。

張家界は湖南省の北西部に位置し、武陵山脈の険しい峰が連なるカルスト地形の奇観で知られる天下の景勝地である。いまでこそ交通インフラが整備され内外の観光客で賑わっているが当時は行きたくても行けない秘境の地であった。まさに山水画の世界であり、墨絵から抜け出たような世界が眼前に迫り、われわれを圧倒した。やれやれ、やっと文人墨客の世界に辿り着いたと安心していたら、ここにも「酒鬼」が待ち構えていた。中国最大の商業銀行だけあって張家界にも当然支店があり、本店からVIP扱いで待遇せよとの指示があったらしく支店長自らが名所旧跡の案内役を勤めてくれた。夜は当然歓迎宴である。しかも張家界は中国屈指の観光地であり中央からお迎えする賓客も多いらしく、宴会を盛り上げる専門職員まで揃えているようだ。乾杯の進め方も上手である。一人が立ち上がってわれわれ4人と杯を合わせ一気に飲み干す。次に別の職員が立ち上がって同じことを繰り返す。こんな戦術に乗せられてはわれわれに勝ち目はない。さすがは賀龍元帥の故郷だ、ゲリラ戦の達人だわいと感心している場合ではない。死ぬほど辛い湖南料理を口に入れつつ「酒鬼」を十数杯も流し込めば胃の中は溶鉱炉である。このときほど丈夫な体に生んでくれた父母に感謝したことはない。

90年代の北京や上海ではこのような乱暴な宴会は徐々に少なくなりつつあると理解していたが、田舎ではまだ蛮習が残っていたのである。それから約20年、中国が高度成長を続けるなかで、生活様式も多様化しつつあり、暴飲暴食で日頃のうさを晴らそうという習慣は廃れつつある。香港人も昔は大酒を飲んだというが、いまは株式投資や不動産投資に忙しく酒を飲む時間は少ないようだ。北京や上海のような大都会では酒を控えて投資に備える香港スタイルが定着しつつあるのである。

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成22年6月8日

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2075% (税込み) (約定代金が 260,869 円以下の場合、3,150 円 (税込み)) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8400% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集、売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

株価指数先物 株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0840% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.20% (税込み) (約定代金が 2,625 円に満たない場合は、2,625 円 (税込み)) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物 株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。